

# 野洲市のまちづくりに関するアンケート調査 (みどりに関する市民意識)

## 1. 単純集計

- 1) 野洲市の緑の現状について…………… 1
- 2) 野洲市の緑の今後について…………… 3
- 3) 野洲市の公園について…………… 4

## 2. クロス集計

- 1) 年齢層別の傾向…………… 7
- 2) 地域別の傾向…………… 10

## 3. まとめ

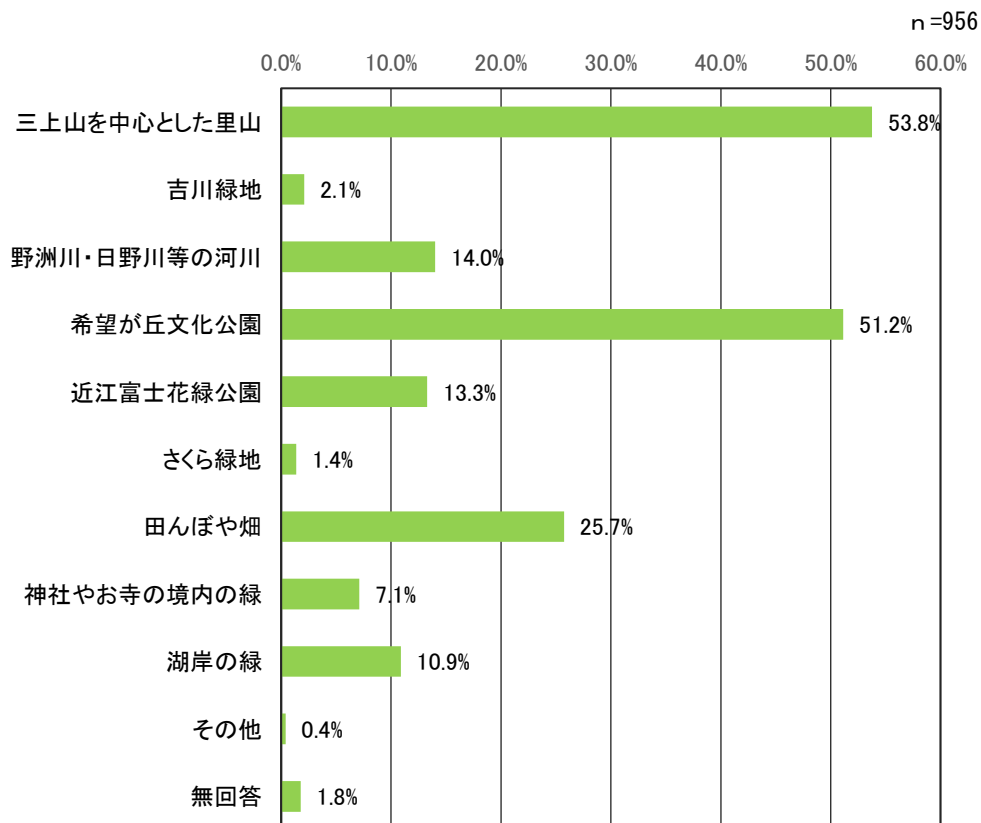
- 1) 全体の傾向…………… 26
- 2) 年齢層別の傾向…………… 26
- 3) 地域別の傾向…………… 26

# 1. 単純集計

## 1) 野洲市の緑の現状について

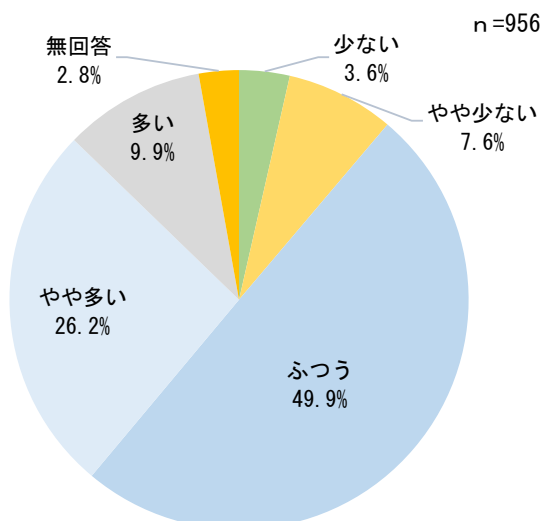
### 野洲市を代表する緑とは（問9 MA）

「三上山を中心とした里山」の回答が 53.8%と最も高く、次いで「希望が丘文化公園」が 51.2%、「田んぼや畑」が 25.7%となっています。



### 野洲市の緑の量（問10 SA）

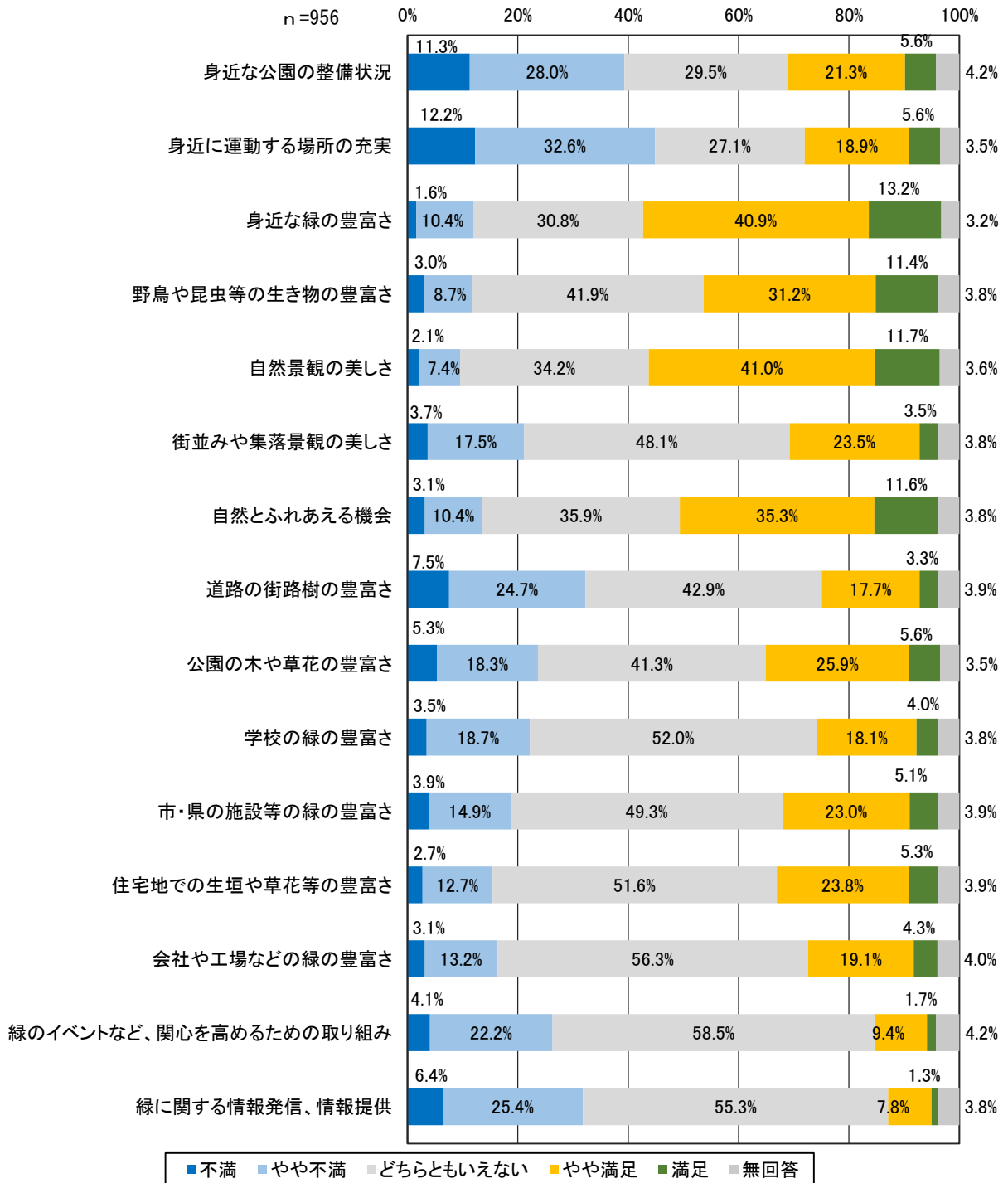
「ふつう」の回答が 49.9%と最も高く、次いで「やや多い」が 26.2%、「多い」が 9.9%となっています。



## お住まいの地域の緑の満足度（問 11 MA）

“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）は、「身近な緑の豊富さ」が54.1%と最も高く、次いで「自然景観の美しさ」が52.7%、「自然とふれあえる機会」が46.9%となっています。

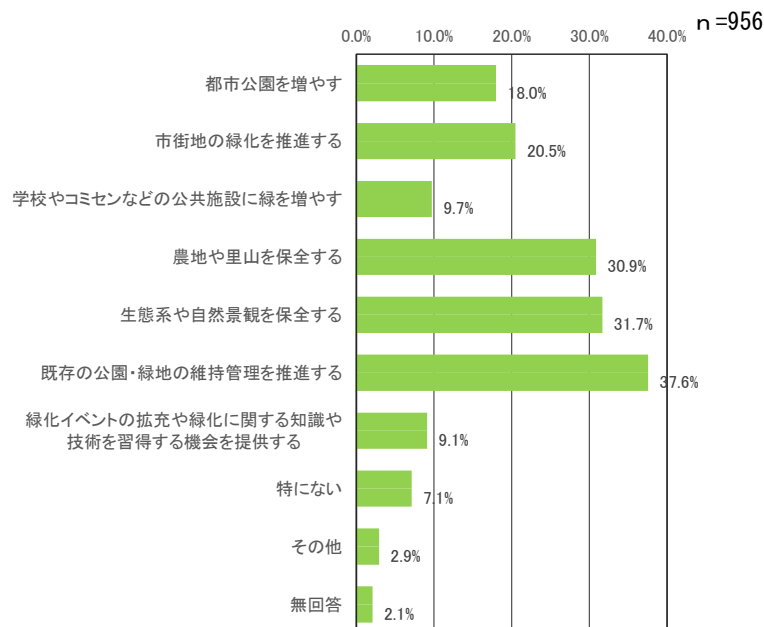
一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）は、「身近に運動する場所の充実」の回答が44.8%と最も高く、次いで「身近な公園の整備状況」が39.3%、「道路の街路樹の豊富さ」が32.2%となっています。



## 2) 野洲市の緑の今後について

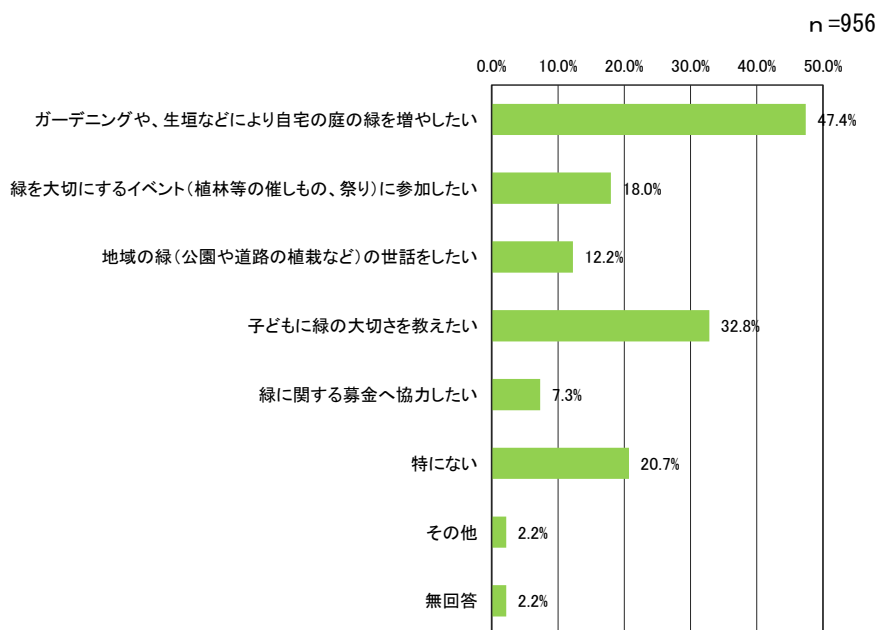
### 野洲市が緑を守り育てていくべきと思う施策（問 12 MA）

「既存の公園・緑地の維持管理を推進する」の回答が 37.6%と最も高く、次いで「生態系や自然景観を保全する」が 31.7%、「農地や里山を保全する」が 30.9%となっています。



### 自分が緑を守り育てていくために何をしていきたいか（問 13 MA）

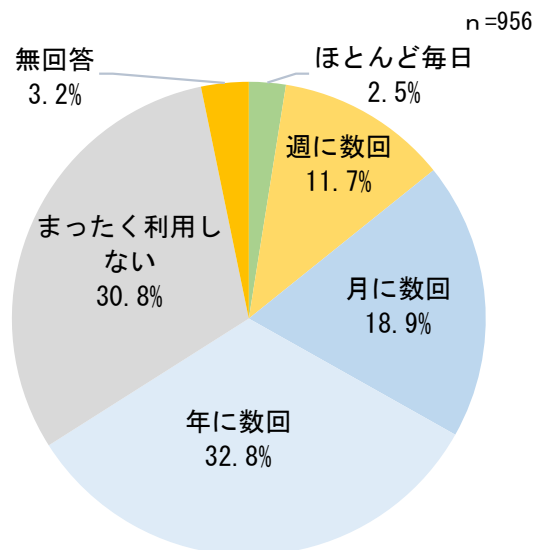
「ガーデニングや、生垣などにより自宅の庭の緑を増やしたい」の回答が 47.4%と最も高く、次いで「子どもに緑の大切さを教えたい」が 32.8%、「特にない」が 20.7%となっています。



### 3) 野洲市の公園について

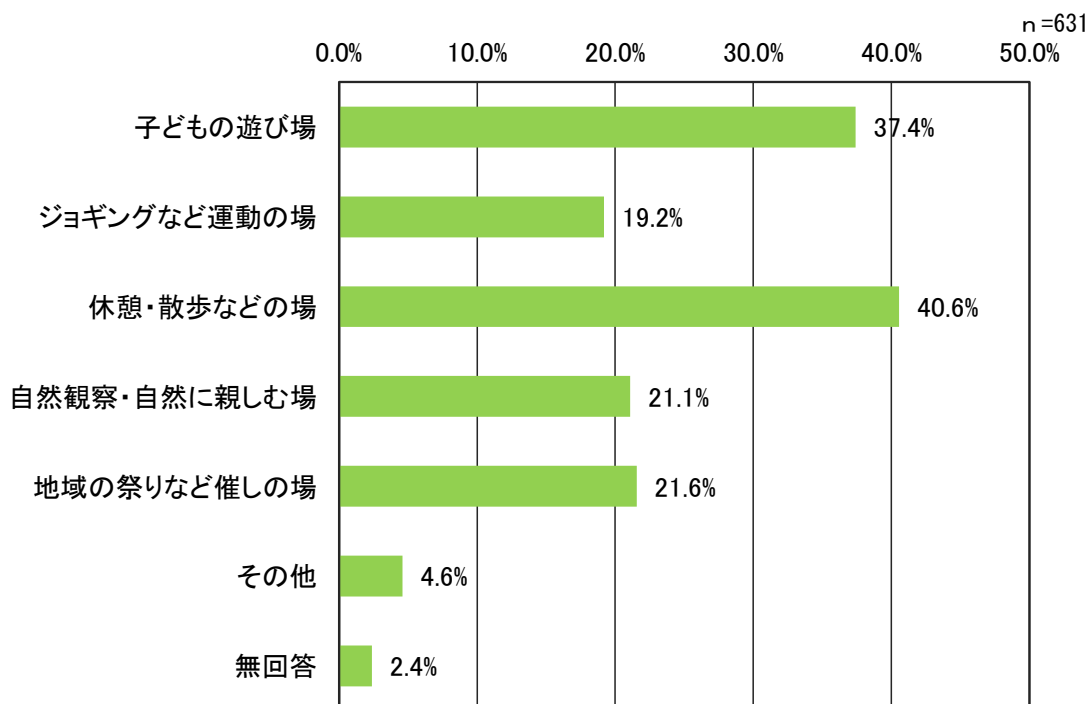
#### 市内の公園はよく利用するか（問 14-1 SA）

「年に数回」の回答が 32.8%と最も高く、次いで「まったく利用しない」が 30.8%、「月に数回」が 18.9%となっています。



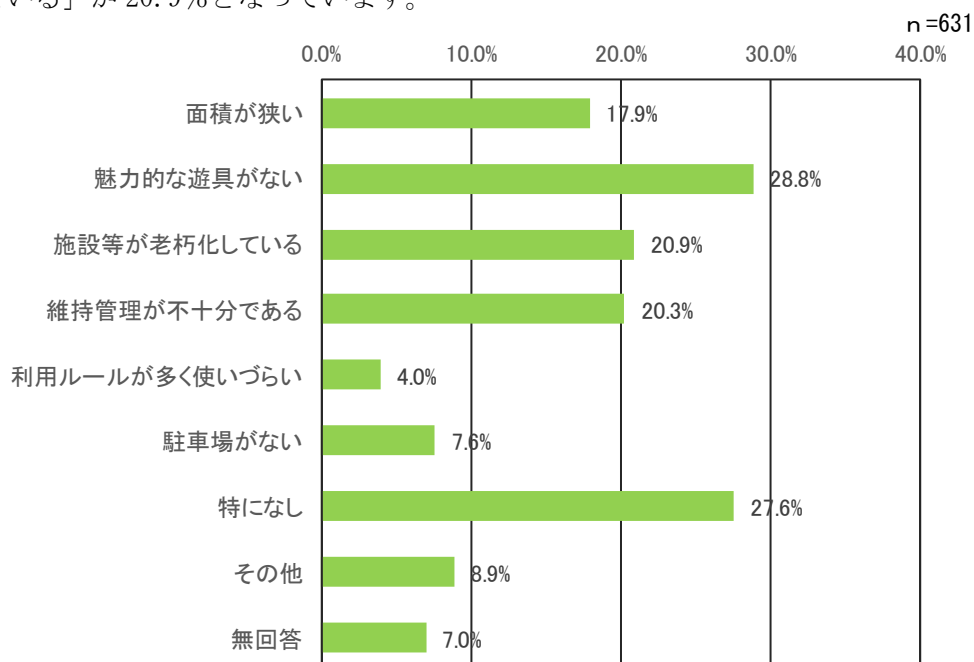
#### どんなときに利用するのか（問 14-2 MA）

「休憩・散歩などの場」の回答が 40.6%と最も高く、次いで「子どもの遊び場」が 37.4%、「地域の祭りなど催しの場」が 21.6%となっています。



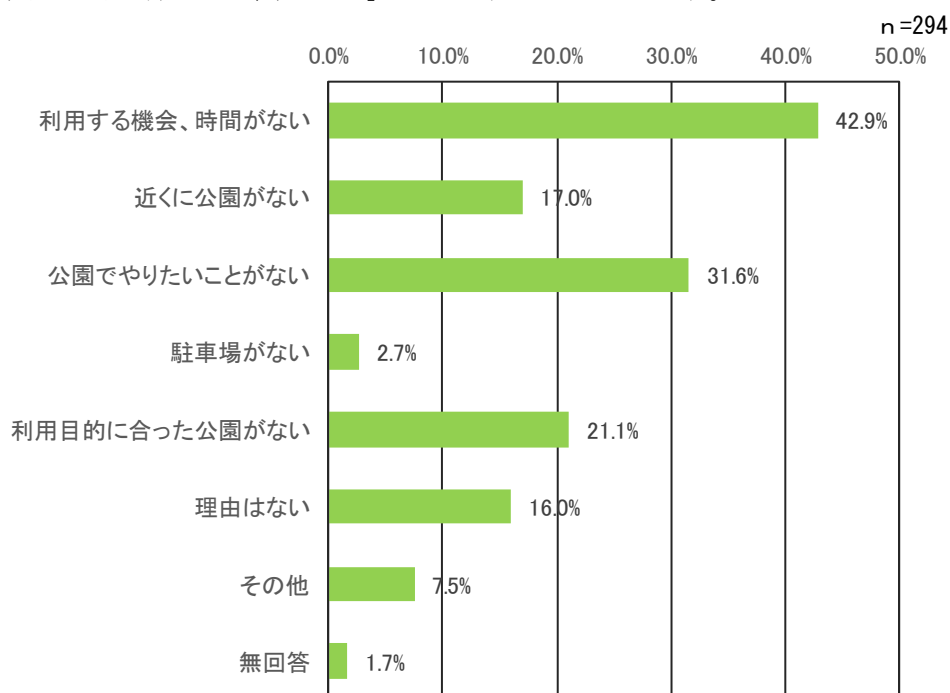
### 不満に思うこと（問 14-3 MA）

「魅力的な遊具がない」の回答が 28.8%と最も高く、次いで「特になし」が 27.6%、「施設等が老朽化している」が 20.9%となっています。

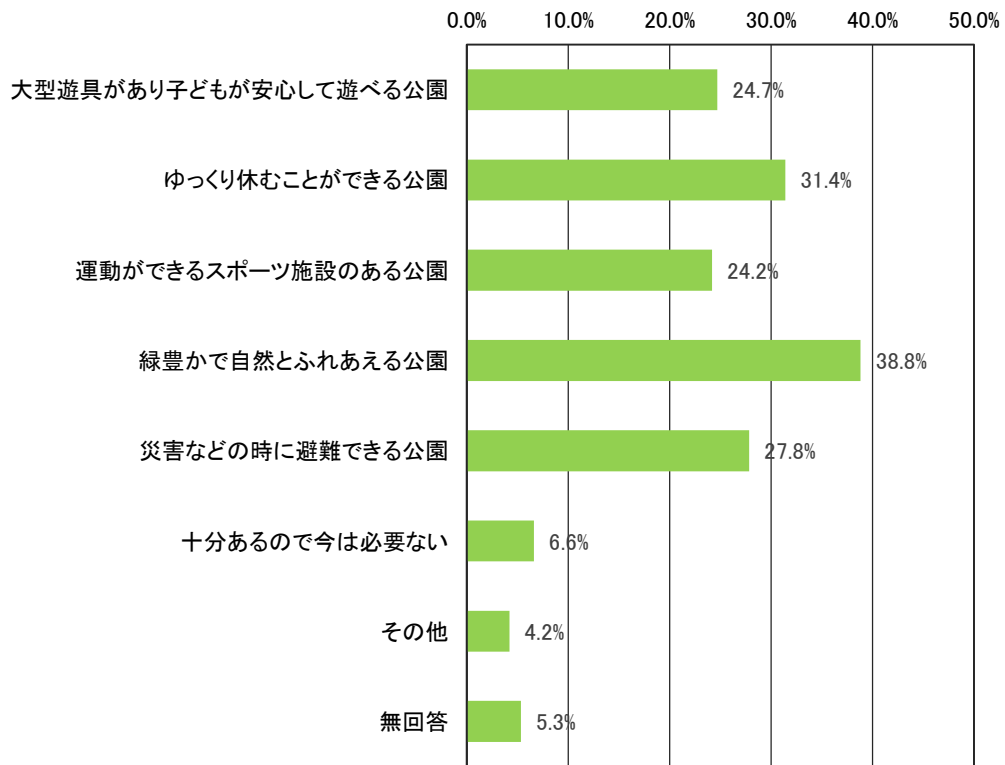


### 利用しない理由（問 14-4 MA）

「利用する機会、時間がない」の回答が 42.9%と最も高く、次いで「公園でやりたいことがない」が 31.6%、「利用目的に合った公園がない」が 21.1%となっています。



どのような公園が必要であると思うか（問 15 MA）



## 2. クロス集計

### 1) 年齢層別の傾向

年齢層別の傾向を見るために下記のクロス集計を行いました。

- ① 緑の量に対する感じ方 (問 10)
- ② すすめるべき今後の施策 (問 12)
- ③ 今後していきたいこと (問 13)

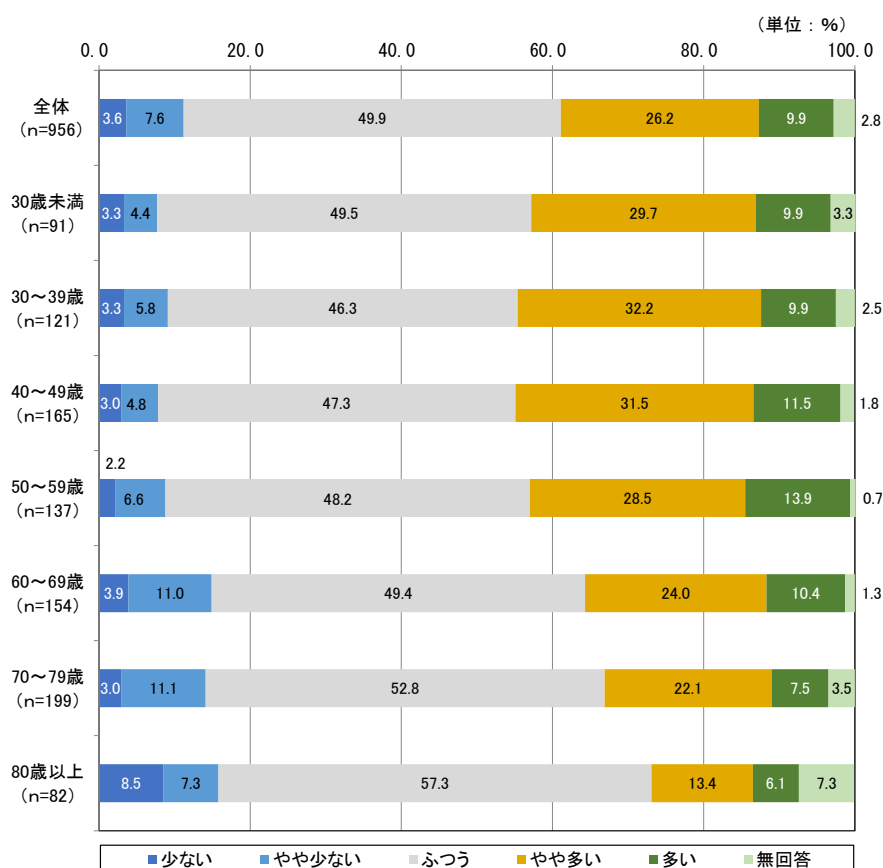
※10代のサンプル数が少ないため、20代と合算して30歳未満として集計しています。

※各グラフの全体は無回答を含む合計値のため、年齢層ごとの合計とは合いません。

#### ① 緑の量 (問 10) に関する年齢層別の傾向 (S A)

年齢層が低い方が、“肯定的な意見”（「多い」と「やや多い」の合計）と回答した人の割合が高い傾向となっています。中でも40代は43.0%と最も高くなっています。

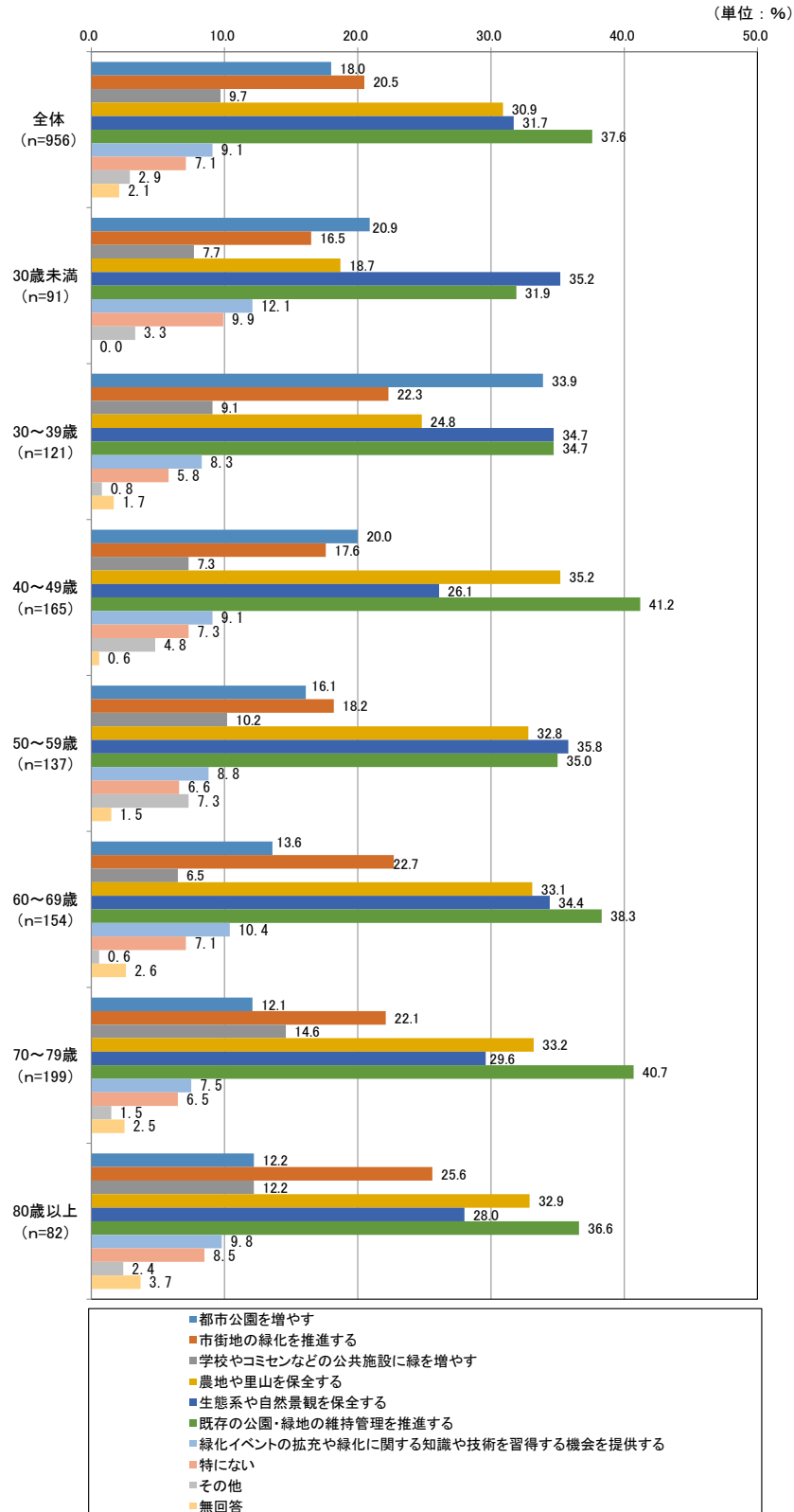
一方、年齢層が高い方が、“否定的な意見”（「少ない」と「やや少ない」の合計）と回答した人の割合が高くなっています。80歳以上は15.8%と最も高くなっています。





② 野洲市が緑を守り育てていくべきと思う今後の施策（問 12）に関する年齢層別の傾向  
 (MA)

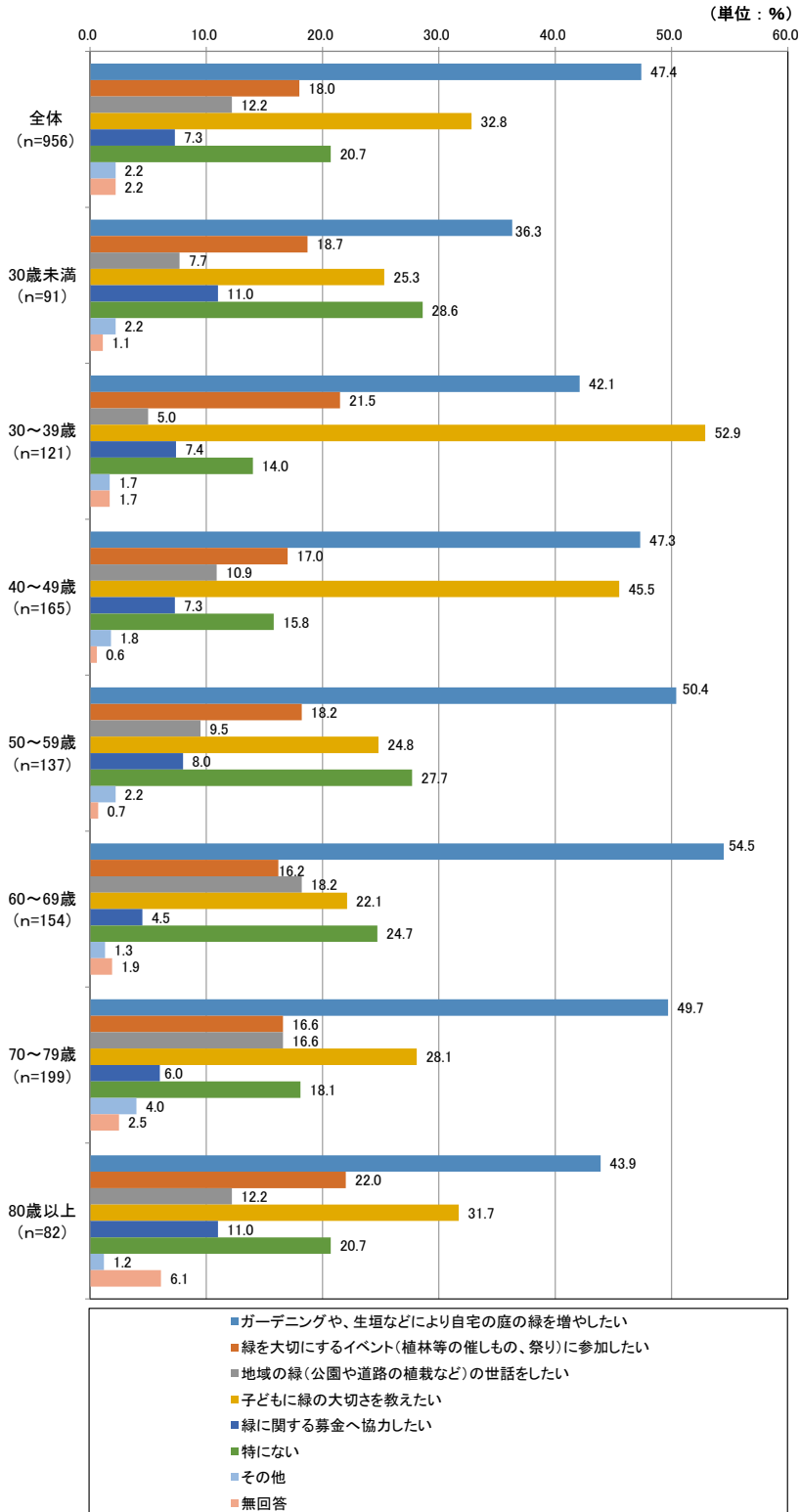
年齢に関わらず「既存の公園・緑地の維持管理を推進する」と回答した人の割合が概して高くなっています。年齢層別では40代が41.2%と最も高く、次いで70代が40.7%となっています。40代以上では、「農地や里山を保全する」と回答した人の割合が高くなっています。



③ 自分が緑を守り育てていくために何をしていきたいか(問 13)に関する年齢層別の傾向(MA)

30代、40代は「子どもに緑の大切さを教えたい」と回答した人の割合が他の年齢層に比べて高くなっています。

60代は、「ガーデニングや、生垣などにより自宅の庭の緑を増やしたい」と回答した人の割合が他の年齢層に比べ最も高くなっています。



## 2) 地域別の傾向

地域別の傾向を見るために下記のクロス集計を行いました。

- ① 緑の量に対する感じ方 (問 10)
- ② 緑の満足度 (問 11)
- ③ すすめるべき今後の施策 (問 12)
- ④ 今後していきたいこと (問 13)
- ⑤ 公園利用等に対する状況 (問 14)
- ⑥ 必要と思う公園の機能 (問 15)

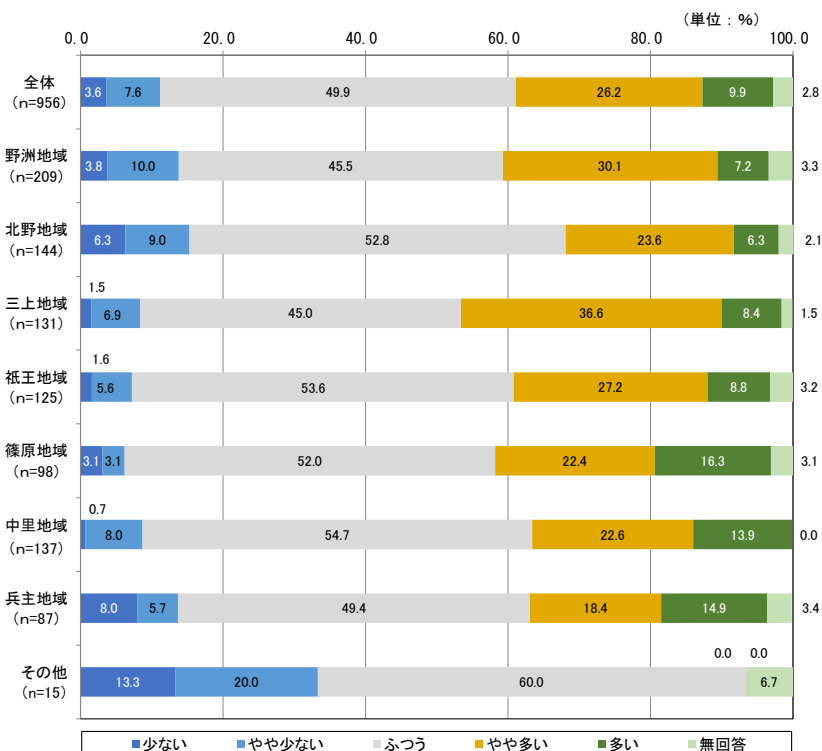
※各グラフの全体は無回答を含む合計値のため、地域ごとの合計とは合いません。



地域区分

### ① 緑の量に対する感じ方（問 10）に関する地域別の傾向（SA）

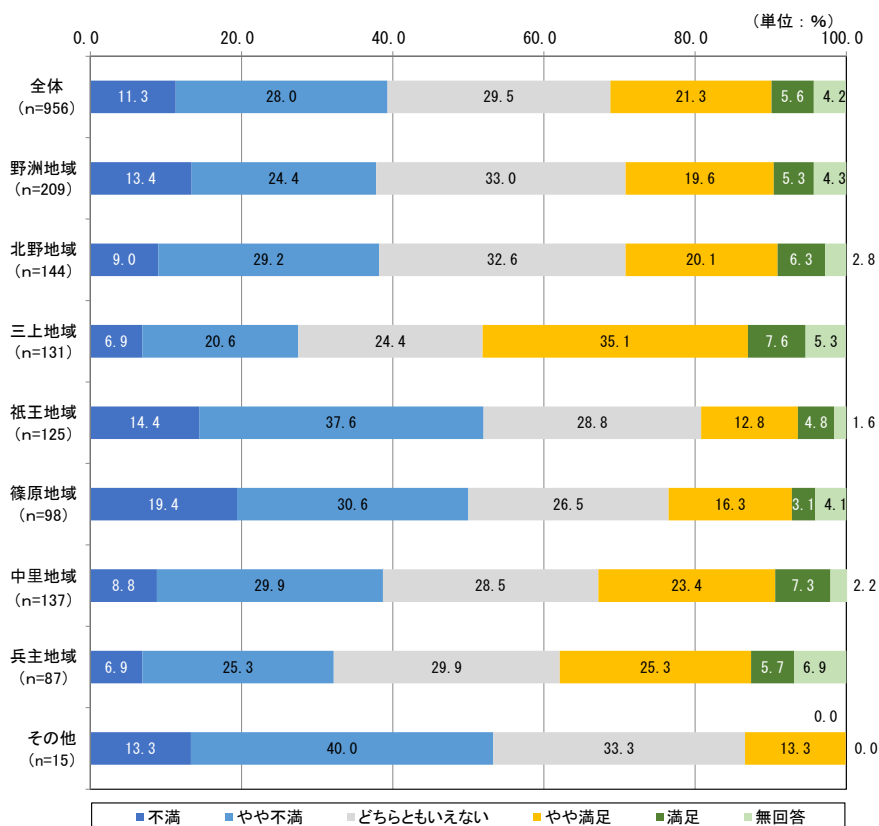
“肯定的な意見”（「多い」と「やや多い」の合計）と回答した人の割合が高いのは、三上地域が 45.0%、次いで篠原地域の 38.7% となっています。一方、“否定的な意見”（「少ない」と「やや少ない」の合計）と回答した人の割合が高いのは、北野地域の 15.3% となっています。



### ② お住まいの地域の緑の満足度（問 11）に関する地域別の傾向（SA）

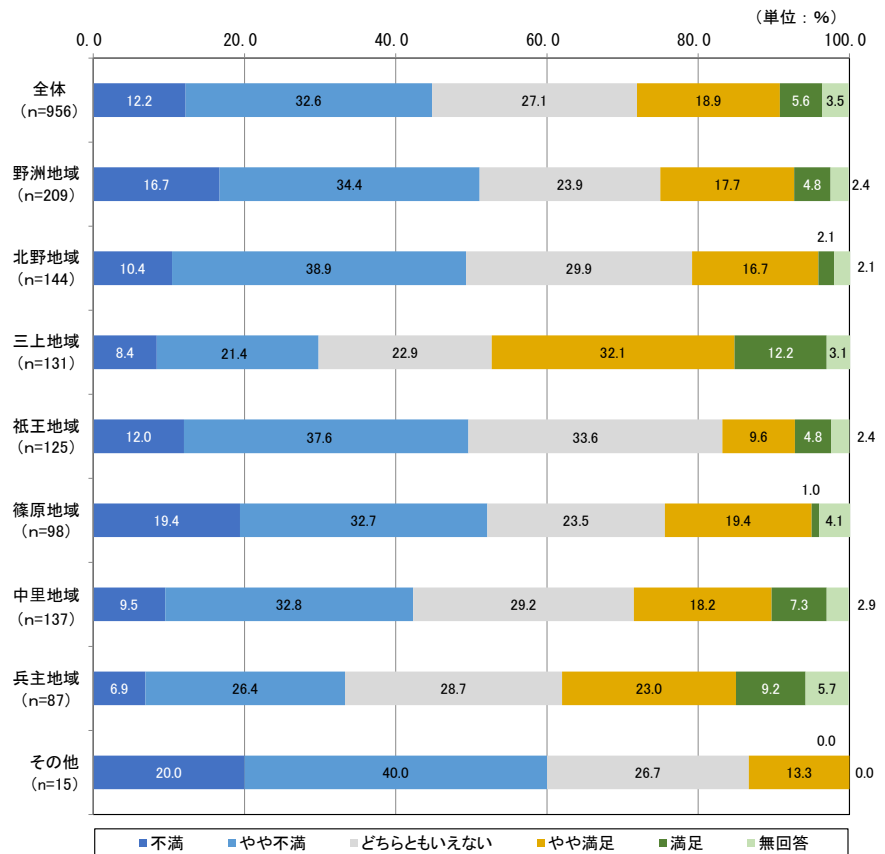
#### 問 11-1 身近な公園の整備状況

“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）と回答した人の割合が高いのは三上地域の 42.7% が最も高く、次いで兵主地域の 31.0% となっています。一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した人の割合が高いのは、祇王地域の 52.0% となっています。



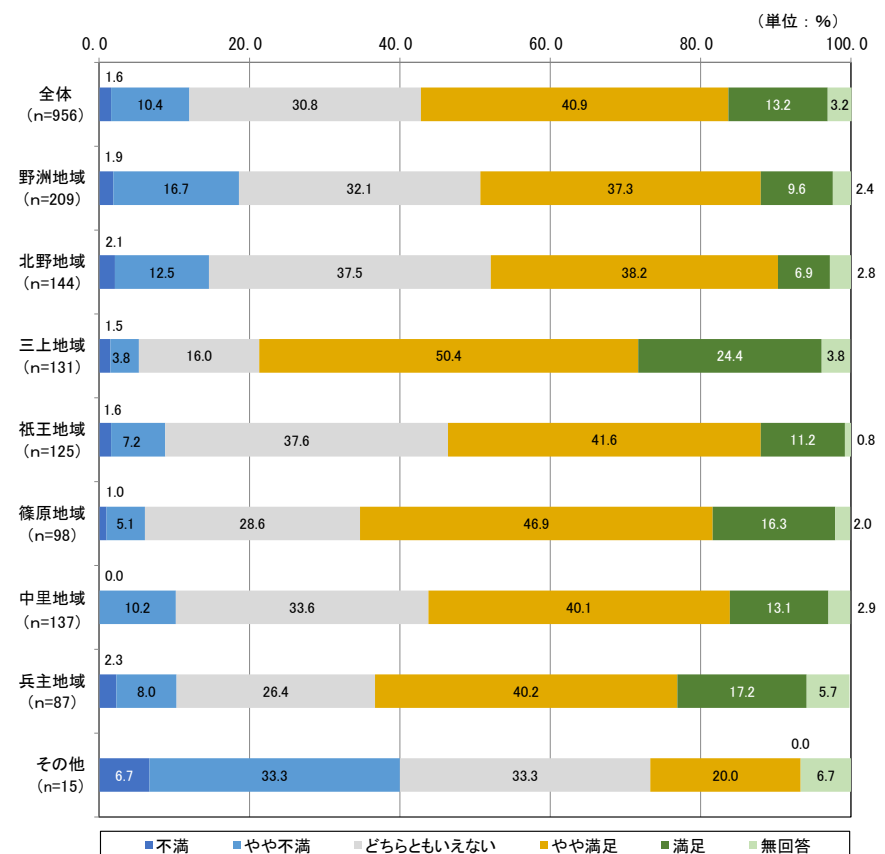
## 問 11-2 身近に運動する場所の充実

“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）と回答した人の割合が高いのは三上地域の44.3%、次いで兵主地域の32.2%となっています。一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した人の割合が高いのは、篠原地域の52.1%となっています。



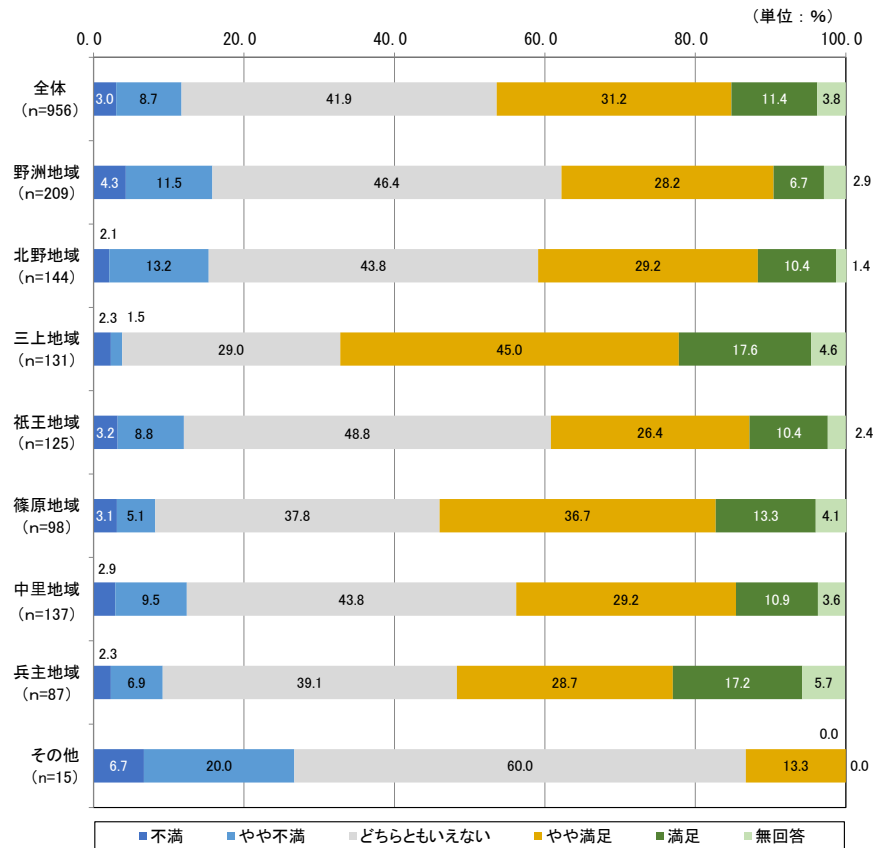
## 問 11-3 身近な緑の豊富さ

“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）と回答した人の割合が高いのは、三上地域の74.8%、次いで篠原地域の63.2%となっています。一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した人の割合が高いのは、野洲地域の18.6%となっています。



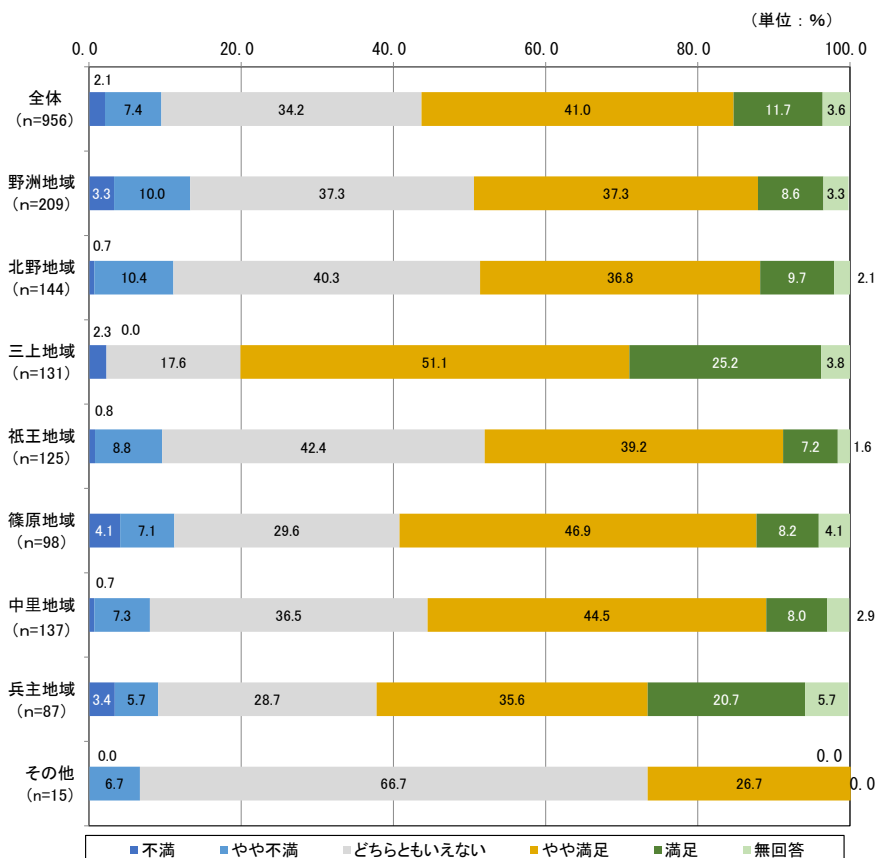
### 問 11-4 野鳥や昆虫等の生き物の豊富さ

“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）と回答した人の割合が高いのは、三上地域の62.6%、次いで篠原地域の50.0%となっています。一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した人の割合が高いのは、野洲地域の15.8%となっています。



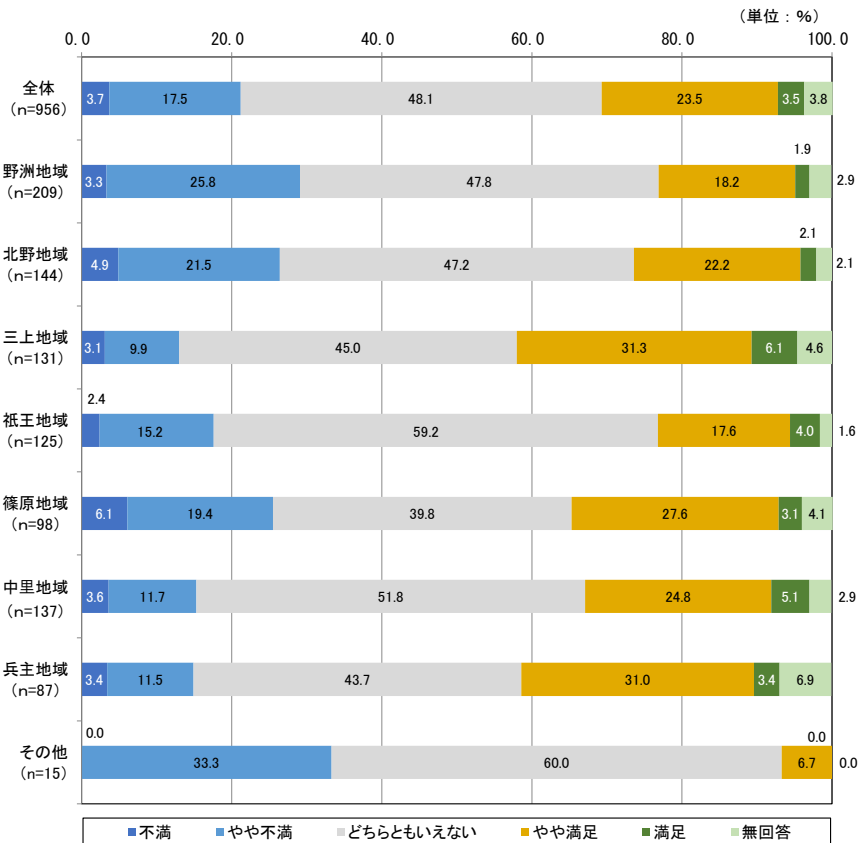
### 問 11-5 自然景観の美しさ

“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）と回答した人の割合が高いのは、三上地域の76.3%、次いで兵主地域の56.3%となっています。一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した人の割合が高いのは、野洲地域の13.3%となっています。



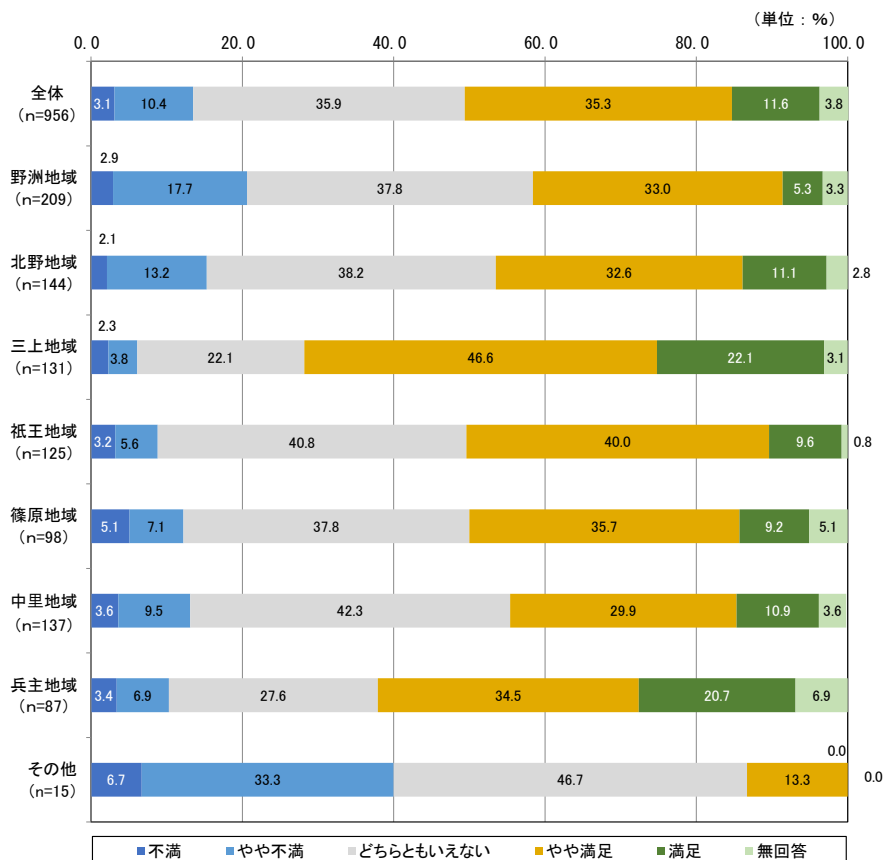
## 問 11-6 街並みや集落景観の美しさ

“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）と回答した人の割合が高いのは、三上地域の37.4%、次いで兵主地域の34.4%となっています。一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した人の割合が高いのは、野洲地域の29.1%となっています。



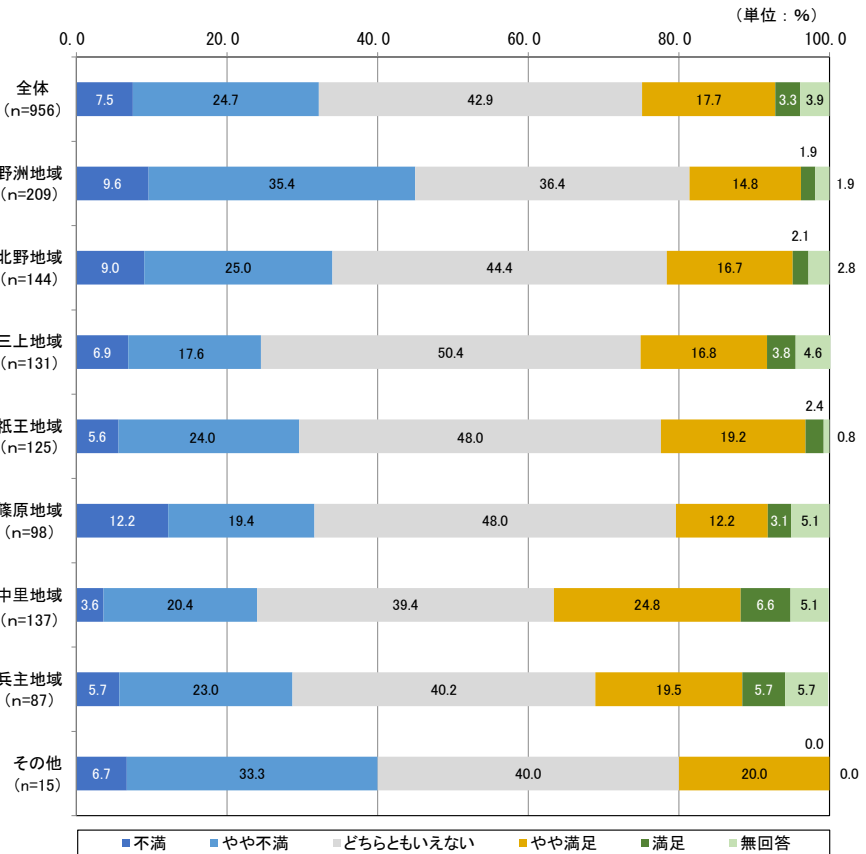
## 問 11-7 自然とふれあえる機会

“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）と回答した人の割合が高いのは、三上地域の68.7%、次いで兵主地域の55.2%となっています。一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した人の割合が高いのは、野洲地域の20.6%となっています。



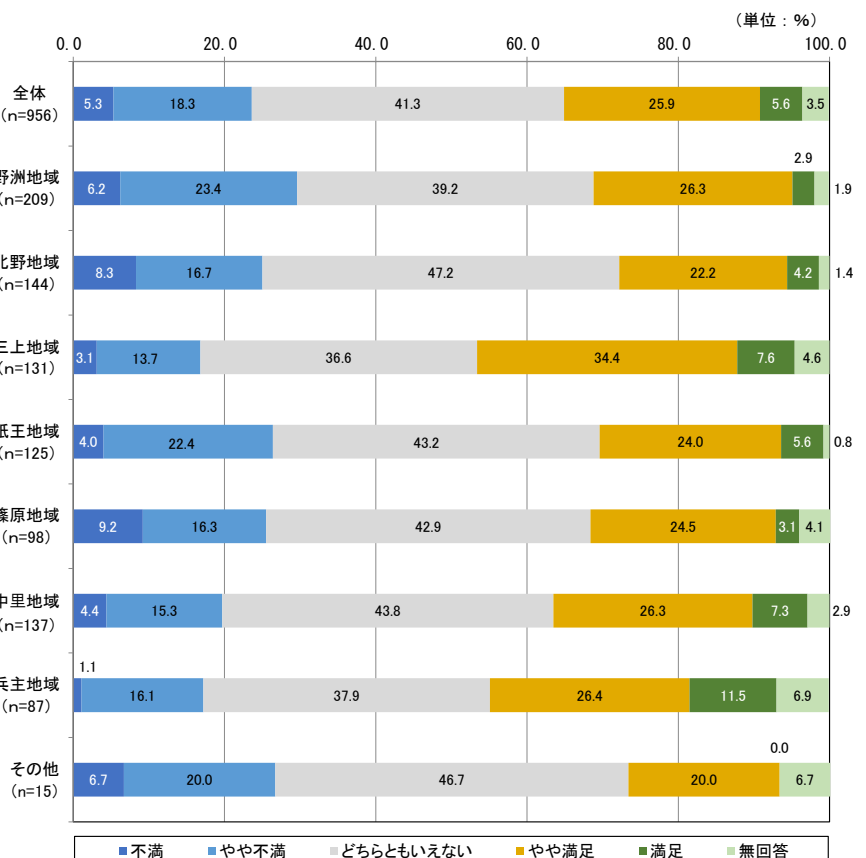
### 問 11-8 道路の街路樹の豊富さ

“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）と回答した人の割合が高いのは、中里地域の31.4%、次いで兵主地域の25.2%となっています。一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した人の割合が高いのは、野洲地域の45.0%となっています。



### 問 11-9 公園の木や草花の豊富さ

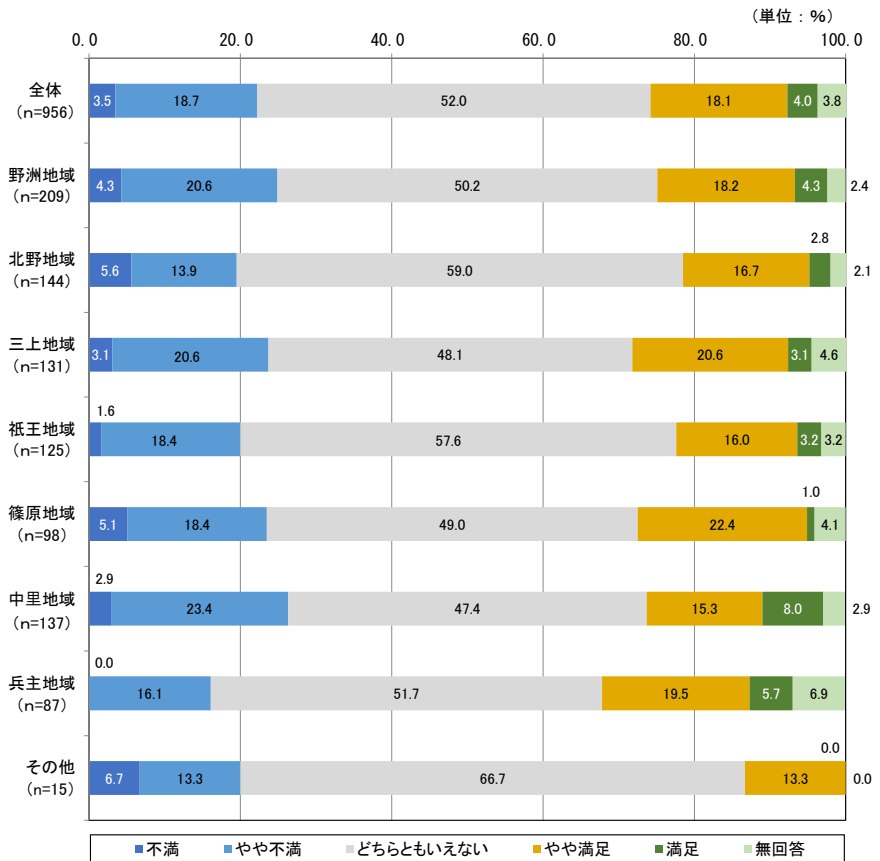
“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）と回答した人の割合が高いのは、三上地域の42.0%、次いで兵主地域の37.9%となっています。一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した人の割合が高いのは、野洲地域の29.6%となっています。





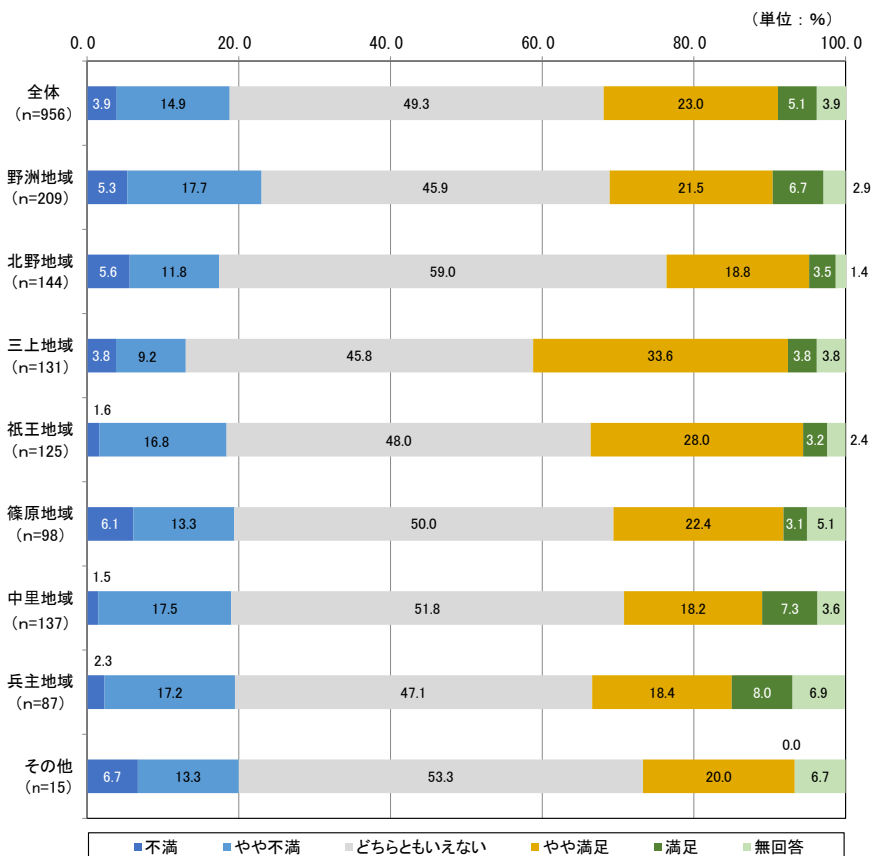
### 問 11-10 学校の緑の豊富さ

“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）と回答した人の割合が高いのは、兵主地域の25.2%、次いで三上地域の23.7%となっています。一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した人の割合が高いのは、中里地域の26.3%となっています。



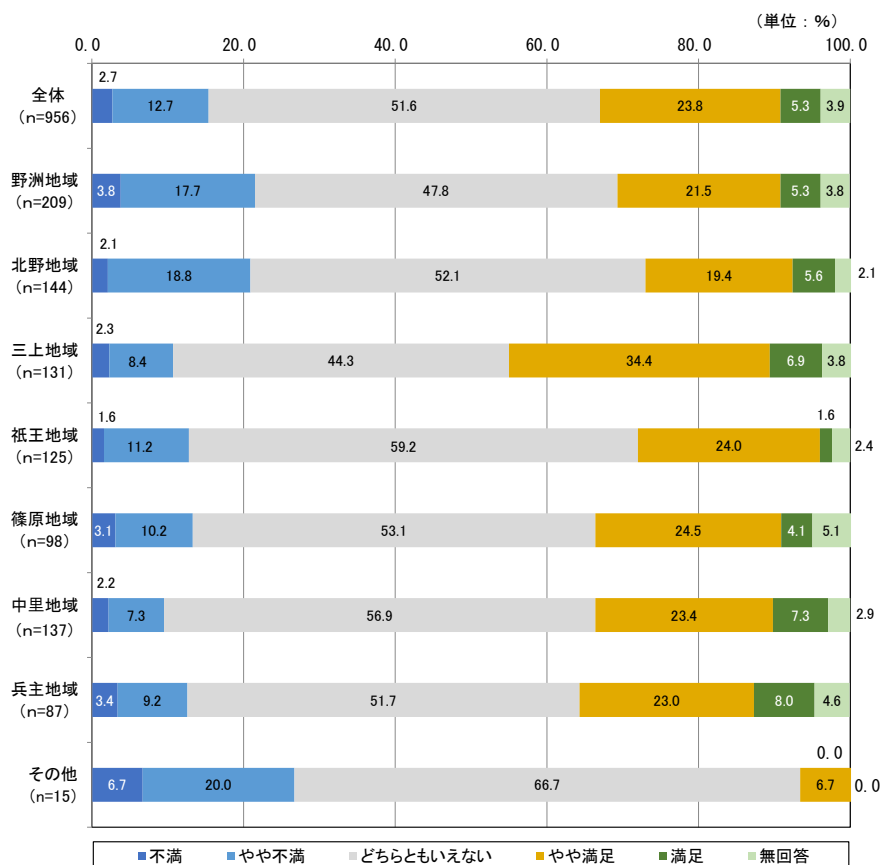
### 問 11-11 市・県の施設等の緑の豊富さ

“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）と回答した人の割合が高いのは、三上地域の37.4%、次いで祇王地域の31.2%となっています。一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した人の割合が高いのは、野洲地域の23.0%となっています。



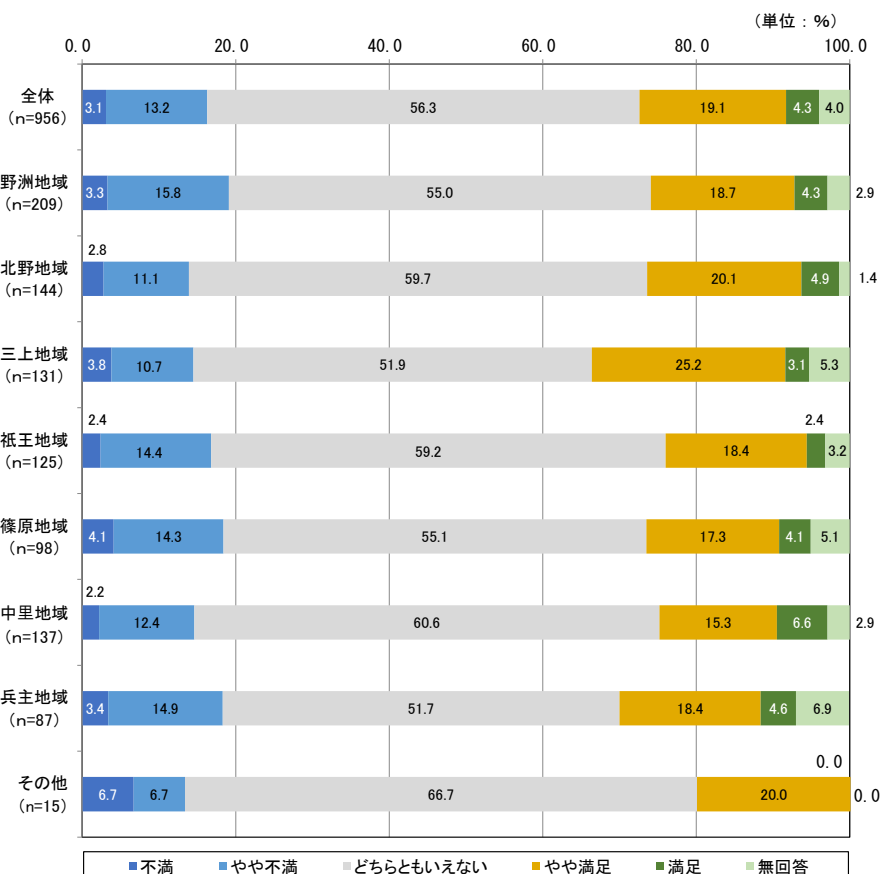
## 問 11-12 住宅地での生垣や草花等の豊富さ

“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）と回答した人の割合が高いのは、三上地域の41.3%、次いで兵主地域の31.0%となっています。一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した人の割合が高いのは、野洲地域の21.5%となっています。



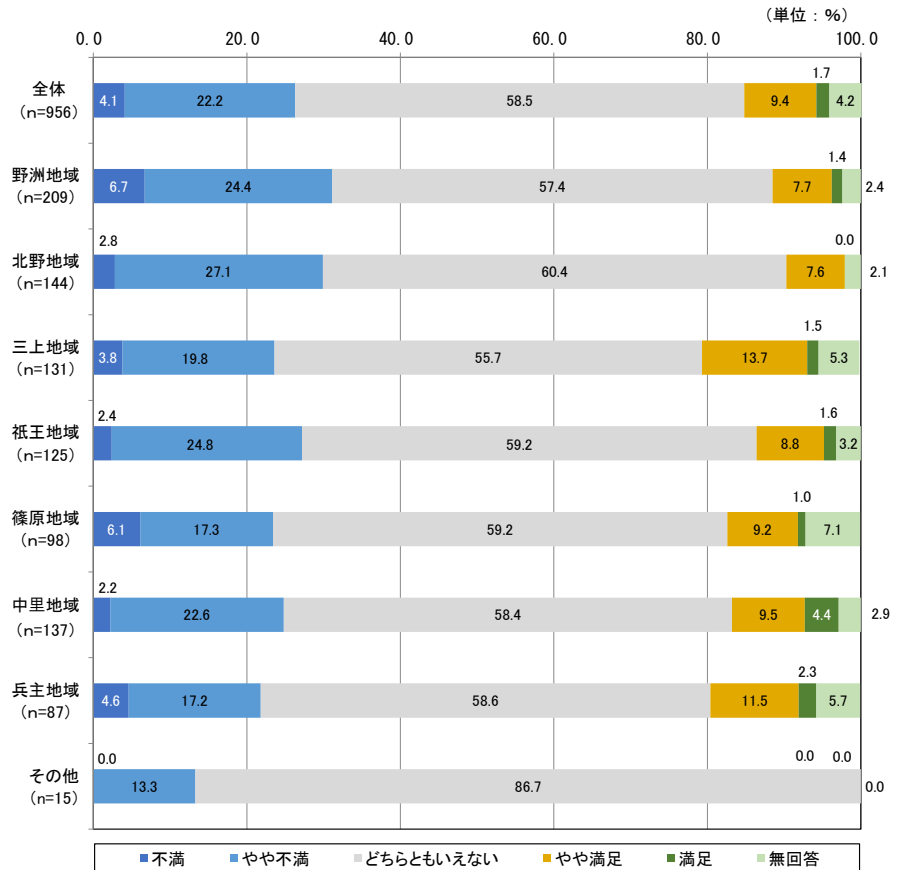
## 問 11-13 会社や工場などの緑の豊富さ

“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）と回答した人の割合が高いのは、三上地域の28.3%、次いで北野地域の25.0%となっています。一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した人の割合が高いのは、野洲地域の19.1%となっています。



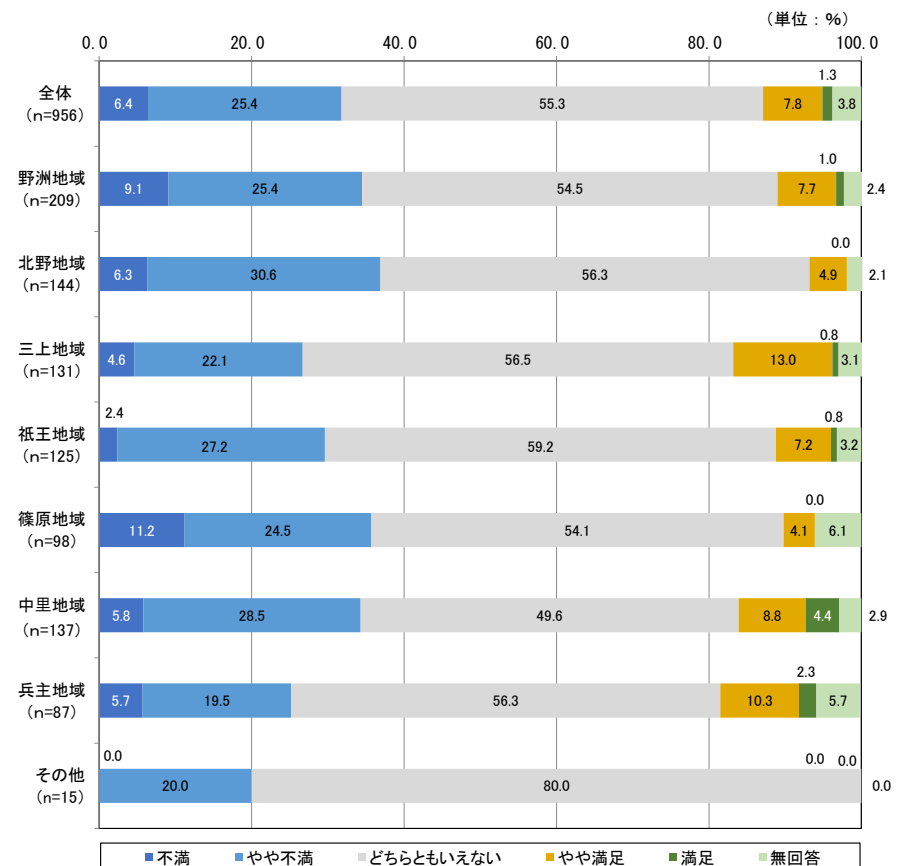
### 問 11-14 緑のイベントなど、関心を高めるための取り組み

“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）と回答した人の割合が高いのは、三上地域の15.2%、次いで中里地域の13.9%となっています。一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した人の割合が高いのは、野洲地域の31.1%となっています。



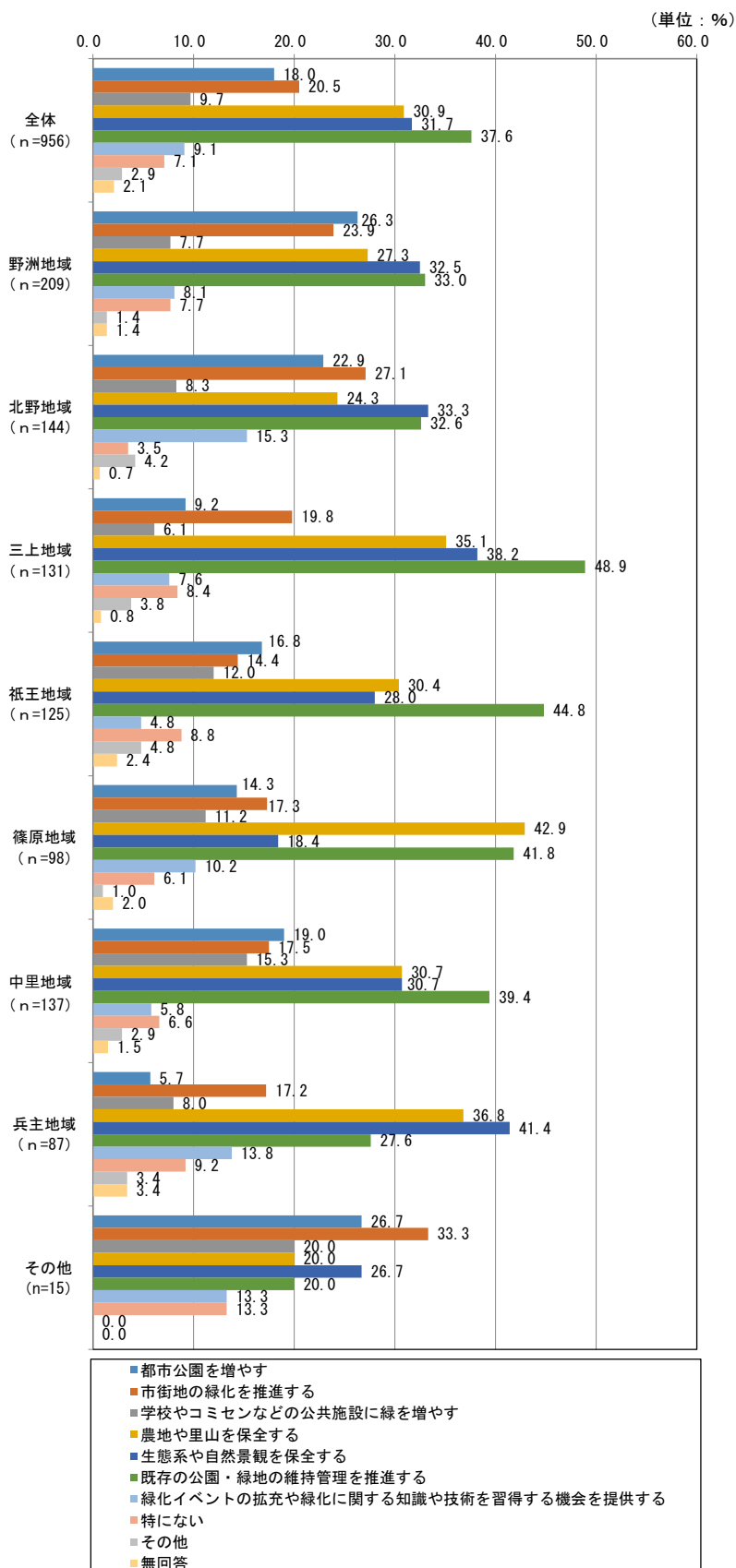
### 問 11-15 緑に関する情報発信、情報提供

“肯定的な意見”（「満足」と「やや満足」の合計）と回答した人の割合が高いのは、三上地域の13.8%、次いで中里地域の13.2%となっています。一方、“否定的な意見”（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した人の割合が高いのは、北野地域の36.9%となっています。



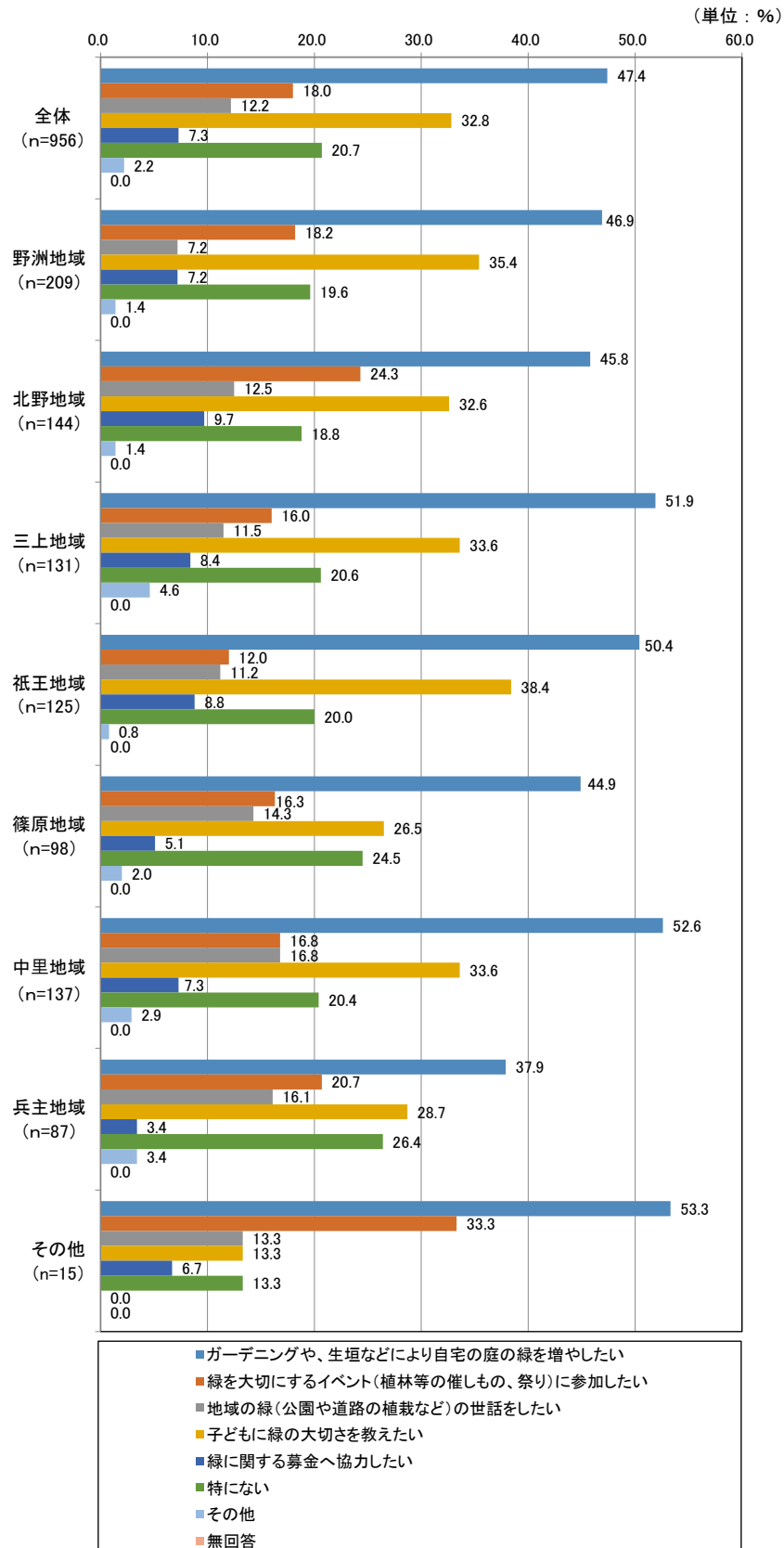
### ③ 野洲市が緑を守り育てていくべきと思う今後の施策（問 12）に関する地域別の傾向（MA）

三上地域、祇王地域では「既存の公園・緑地の維持管理を推進する」と回答した割合がそれぞれ48.9%、44.8%と高くなっています。一方、篠原地域では「農地や里山を保全する」が42.9%と最も高くなっています。



④ 自分が緑を守り育ていくために何をしていきたいか（問 13）に関する地域別の傾向（MA）

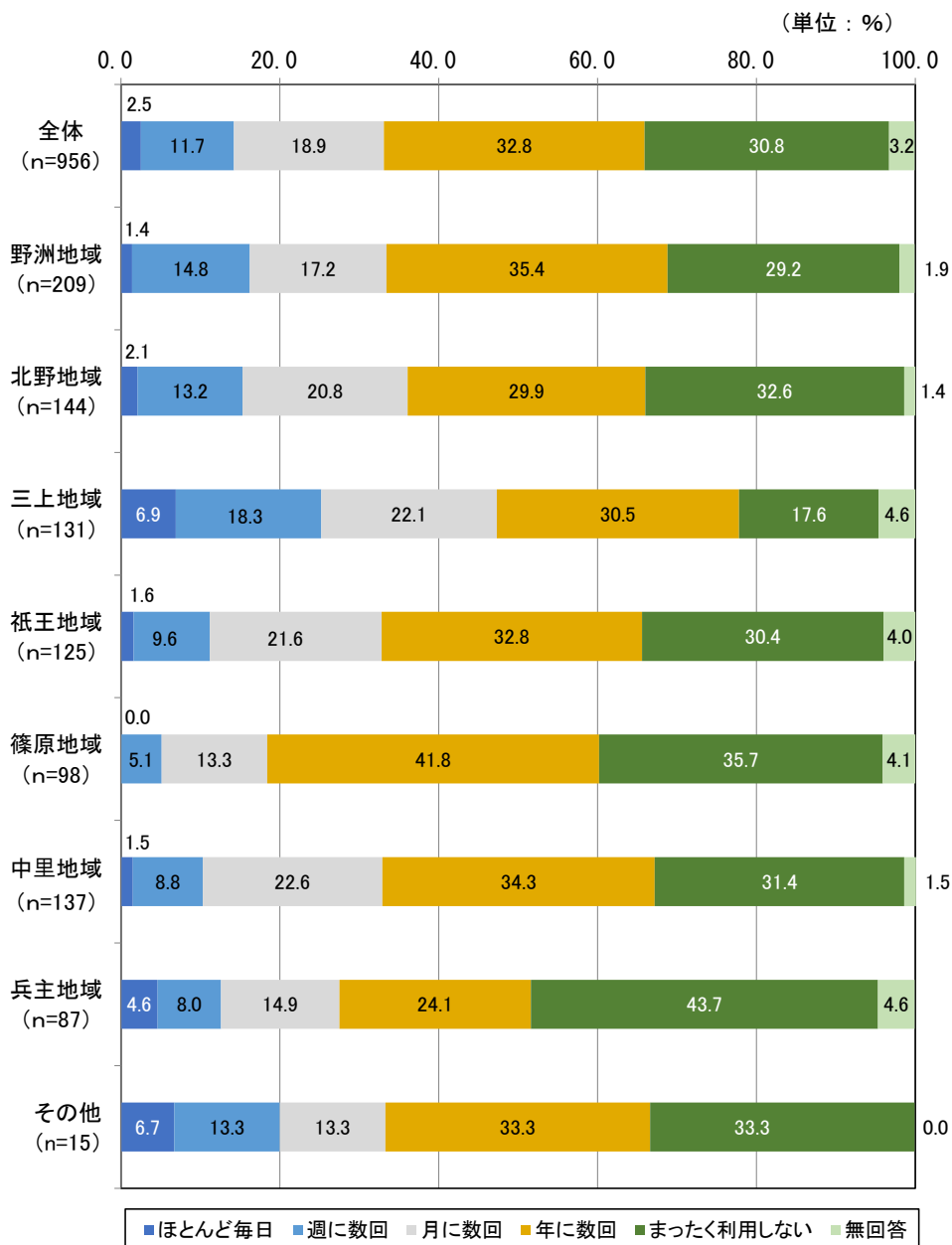
どの地域においても「ガーデニングや、生垣などにより自宅の庭の緑を増やしたい」と回答した人の割合が高くなっています。中里地域は 52.6%と他地域と比べて高く、次いで三上地域の 51.9%、祇王地域の 50.4%となっています。



⑤ 公園利用等に対する状況（問 14）に関する地域別の傾向

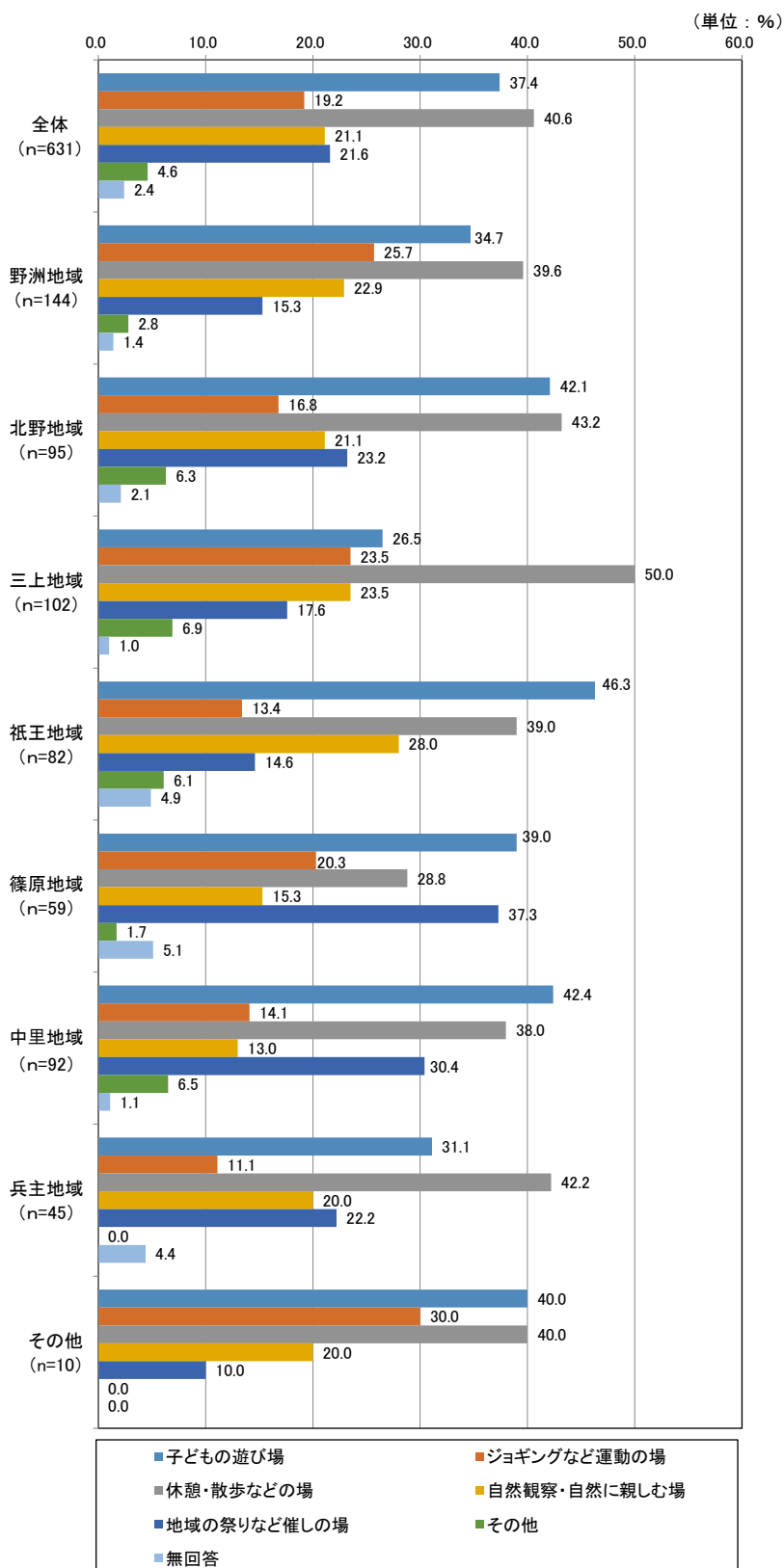
問 14-1 市内の公園はよく利用するか（S A）

「ほとんど毎日」「週に数回」と回答した人の割合が高いのは三上地域で 25.2% となっています。一方、兵主地域では「まったく利用しない」と回答した人の割合が 43.7% と最も高くなっています。



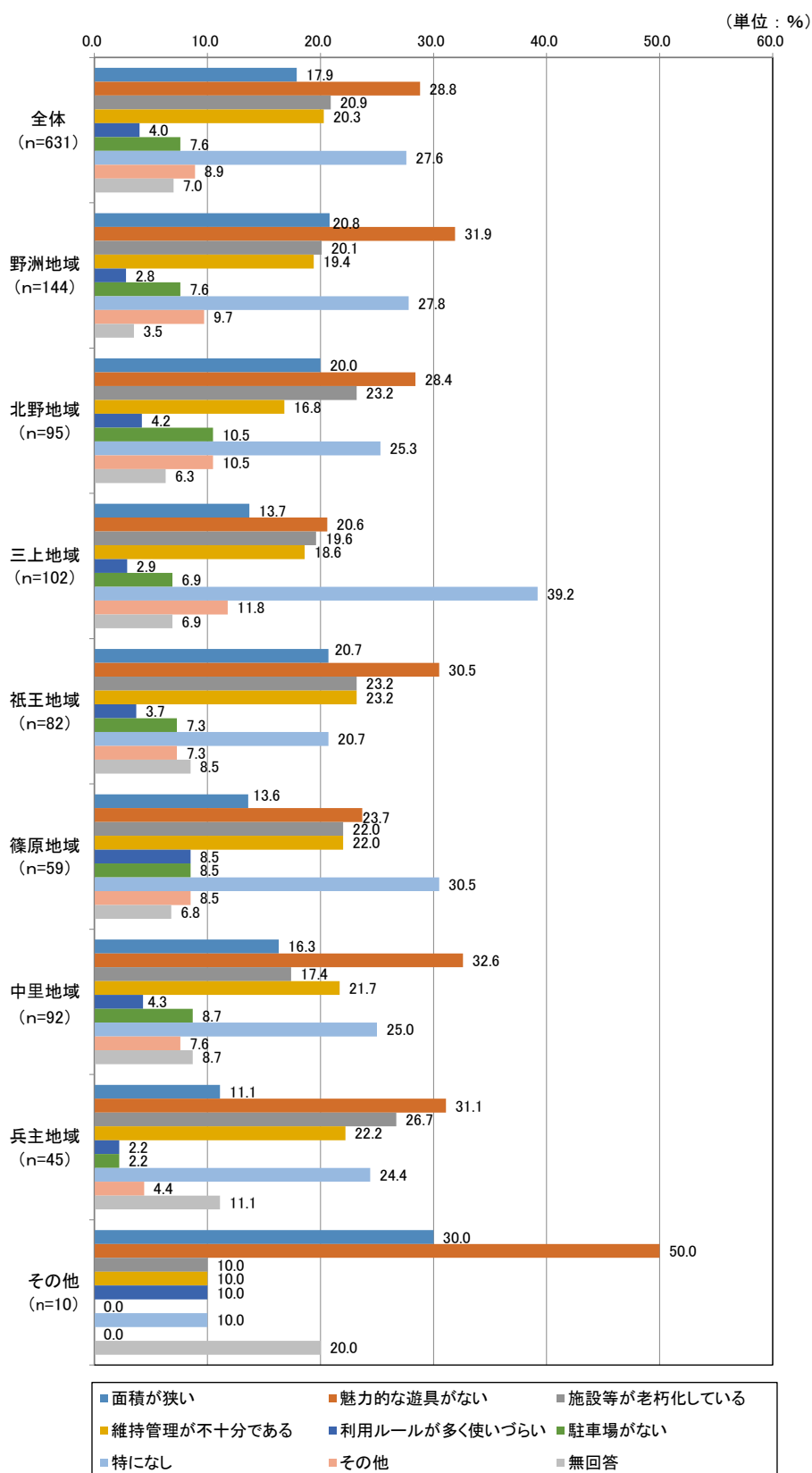
問 14-2 どんなときに利用するのか (MA)

各地域ともに、「子供の遊び場」や「休憩・散歩などの場」と回答した人の割合が高い傾向がみられますが、三上地域では「休憩・散歩などの場」と回答した人の割合が他地域に比べて高く、  
 祇王地域では「子どもの遊び場」と回答した人の割合が他地域に比べて高くなっています。



問 14-3 利用していて不満に思うこと (MA)

三上地域、篠原地域では「特になし」が最も高くなっていますが、他の地域では「魅力的な遊具がない」と回答した人の割合がいずれも最も高くなっています。

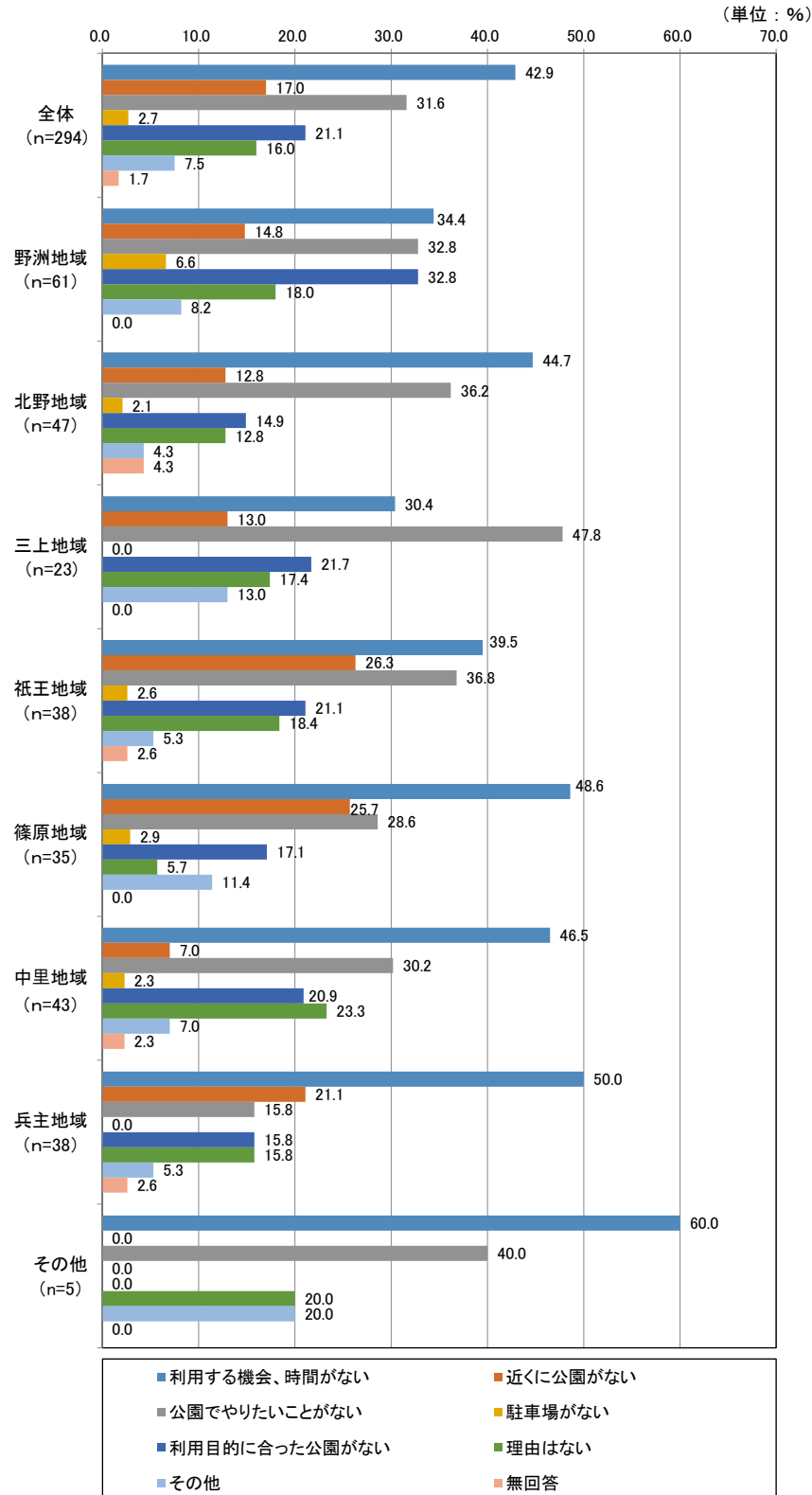




問 14-4 利用しない理由 (MA)

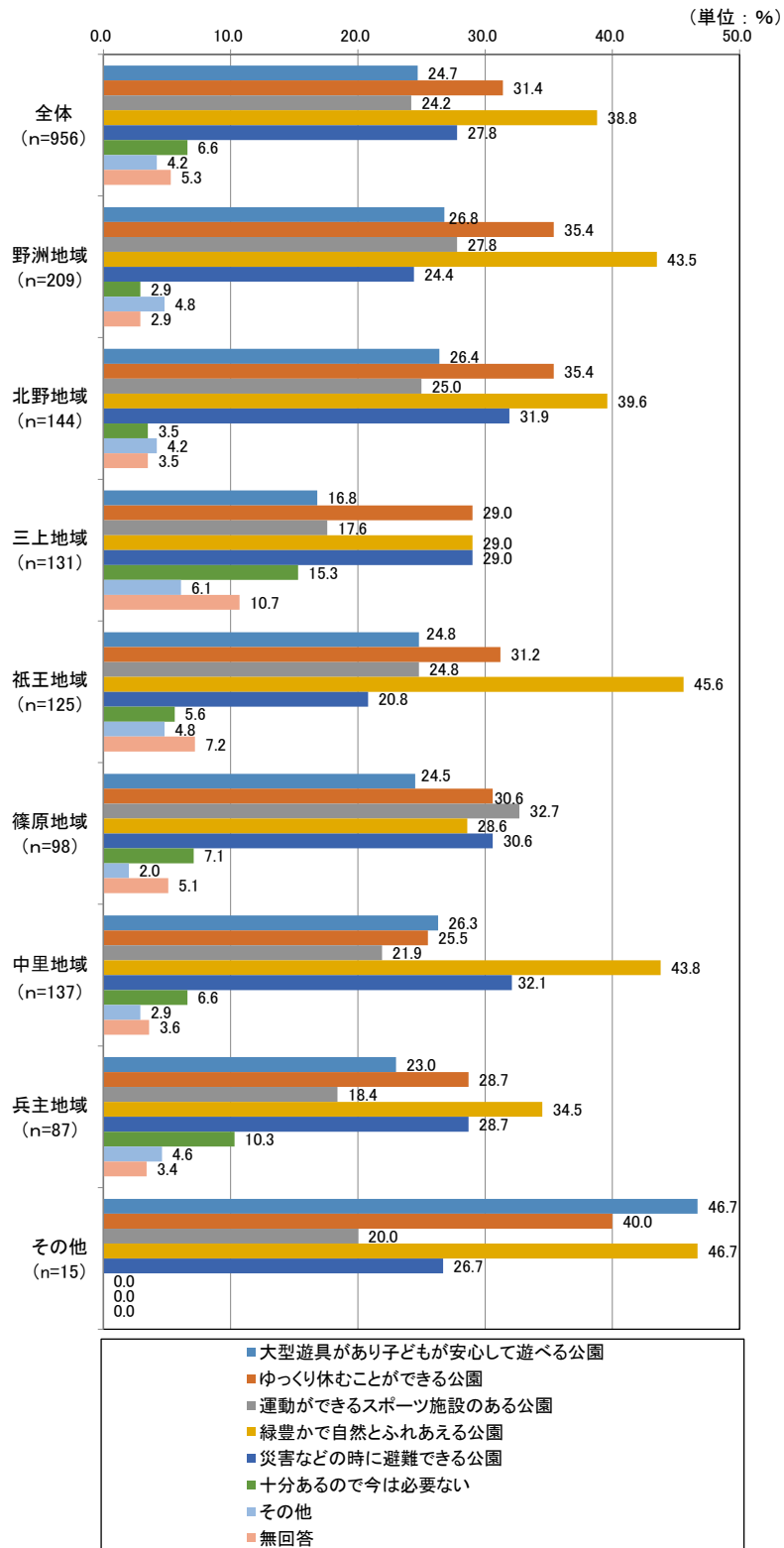
三上地域では「公園でやりたいことがない」と回答した人の割合が 47.8%と最も高くなっています。

その他の地域では「利用する機会、時間がない」がいずれの地域も最も高くなっています。



⑥どのような公園が必要であると思うか（問15）に関する地域別の傾向（MA）

ほとんどの地域で、「緑豊かで自然とふれあえる公園」や「ゆっくり休むことができる公園」と回答した人の割合が高くなっています。篠原地域では「運動ができるスポーツ施設のある公園」と回答した人の割合が最も高くなっています。



### 3. まとめ

#### 1) 全体の傾向

- 野洲市を代表する緑としては、「三上山を中心とした里山」「希望ヶ丘文化公園」「田んぼや畑」が上位3位を占めています。(問9)
- 居住地域の緑の満足度については、「身近な緑の豊富さ」「自然景観の美しさ」「自然と触れ合える機会」など自然の緑や景観についての満足度が高い一方、「身近に運動する場所」「身近な公園の整備」「道路の街路樹」といった人工的な緑についての不満度が高くなっています。(問11)
- これらを反映して、今後取組むべき施策についても、「既存公園の維持管理の推進」「農地や里山の保全」「生態系や自然景観の保全」といった項目をあげています。(問12)
- 市内の公園の利用頻度は、週に1回以上利用している人の割合は1割強にとどまり、「全く利用しない」や「年に数回」の利用の人が全体の6割を超えています。(問14-1)
- 公園に対して不満に思うことは、魅力的な遊具がない点や老朽化、維持管理の問題等が指摘されています(問14-3)

#### 2) 年齢層別の傾向

- 年齢層を問わず、今後の施策として重視されているのは、「農地や里山の保全」「生態系や自然景観の保全」「既存公園の維持管理の推進」となっており、利用しやすい、したくなる公園に対するニーズが高いものと推察されます。(問12)
- 40代以上の世代では、農地や里山の保全に対しても重視する傾向が強く、野洲市を代表する緑として里山が強く意識されていることがうかがえます。(問12)

#### 3) 地域別の傾向

- 緑の量の豊富さについて評価が高いのは三上地域、篠原地域となっている一方、北野地域は評価が低くなっています。(問10)
- 身近な公園整備の満足度は、三上地域、兵主地域で高く、反対に祇王地域、野洲地域では不満度が高い傾向がみられます。(問11)
- ただし、三上地域は公園の利用頻度についても「よく利用する」が高い反面、兵主地域は「まったく利用しない」人の割合が高くなっています。(問14-1)
- 公園利用時の不満点については、三上地域では「特になし」との意見が多く、満足度が高いといえます。その他の地域では、いずれも「魅力的な遊具がない」が高くなっています。(問14-3)
- どのような公園が必要かについては、いずれの地域も「緑豊かで自然とふれあえる公園」が高くなっていますが、中でも祇王地域が他の地域と比べて高くなっています。(問15)
- 緑を守り育てていくための今後の施策としては、三上地域、祇王地域、篠原地域で「既存の公園・緑地の維持管理を推進する」と回答した割合が高く、篠原地域では「農地や里山を保全する」が高くなっています。(問12)